

着任のご挨拶

シンガポール日本商工会議所 運営担当理事
SUMITOMO CHEMICAL ASIA PTE LTD
Vice President Corporate
大久 朗



シンガポール日本商工会議所の皆様、住友化学アジア社の大久でございます。

この度、前任の小関の後任として2024年2月に着任し、4月から理事を務めさせていただくことになりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

住友化学アジア社は、シンガポールに製造拠点を有するメタクリルの製造・販売を事業基盤としながら、住友化学グループのアジア・パシフィック地域の地域統括機能を有し、域内のグループ会社の事業や管理機能の支援を行っています。経済成長が著しく、日本との関係も安定している国が多いアジア・パシフィック地域は、住友化学グループの持つ様々な事業分野において今後ますます大きな貢献が可能な地域と捉え、地域の事業のサポートを強化していきたいと考えています。

事業拡大の基盤となるよう、地域でのコンプライアンスや内部統制の強化にこれまでも取り組んでおりますが、サステナビリティの活動にもこれまで以上に取り組んでいきたいと考えております。

私自身の経歴を少し紹介させていただきますと、海外赴任は3回目になり、これまでは中国とインドに赴任し、それぞれの赴任地でグループ会社の管理部門の仕事に携わって参りました。

中国・大連へは20年近く前の赴任で、その後の経済成長にともなって中国は大きく様変わりしていますが、当時はまだ製造拠点の意味合いが強く、日本式の5S活動を含めた現地従業員の指導に駐在員が頭を悩ませていた時代でした。そうした中で苦労も多かったですが、次第に現地従業員と一体感も生まれ、今では出張で訪問した際も、笑いながら昔を

懐かしむことができるようになってきました。

また、10年ほど前にはインド・ムンバイに赴任しておりましたが、当時はまだ中国とのインフラ整備のスピードにも大きな差があり発展の行方が案じられました。特にムンバイは交通渋滞がひどく、航空便も欠航が多く予定を立ててもその通り進めることが難しいことが多かったように思います。しかし、次第に幹線道路の整備も進み、航空便の運行も安定してくるなど進展し、その後はコロナ禍の中でも着実な成長を続け多方面で存在感を増しているように思います。

こうした中で、東南アジア諸国も目覚ましく発展し、当地シンガポールの地域統括の役割もより強く求められるようになっておりますので、在シンガポール日経企業の一員としてシンガポールの発展に寄与し、日本とシンガポール、東南アジア各国がともに繁栄することに貢献できればと考えております。

今回、JCCIへ参加させて頂く機会をいただき、これまでの経験をその活動に活かし、日星間の経済交流の促進、シンガポールにおける日系企業の発展への寄与、会員相互の交流・親睦に少しでもお役に立てればと考えておりますので、よろしく願いいたします。

最後になりますが、会員企業の皆様ならびにご家族の皆様の益々のご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。